

サラリーマン世帯の主婦 500 名に聞く

2008年夏のボーナスと 家計の実態調査

～ “わが家の生活防衛策” 第 16 弾 ～

2008年7月



損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社

<目次>

. 調査概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査の実施要領	2
3. 回答者及び回答者の夫の基本属性	3
. 調査結果	7
〔1〕夫のこの夏のボーナス	8
1. 夫のこの夏のボーナスの手取り額	8
2. 昨年夏のボーナスとの手取り額の比較	9
3. 夫のボーナスの今後の見通し	10
4. ボーナスの主な使い道	12
5. ボーナスの中から夫に渡した小遣い	14
〔2〕わが家の家計	15
1. 現状での家計の苦しさ	15
2. 今後の家計の見通し	17
3. 家計に特にひびく生活必需品の値上がり	19
4. 家計が苦しくても削りたくない支出	21
5. 主婦ご自慢の家計節約術や家計管理術、地球にも家計にも優しいエコ対策	23
6. 家計に余裕があればしてみたいエコ対策	24
7. 主婦が聞いてうれしくなる買い物に関する言葉	25
〔3〕ボーナスにまつわる話	26
1. 臨時ボーナスをあげたいと思う人	26
〔4〕妻が夫に内緒にしている資産	27
1. 夫に内緒の資産の有無	27
2. 夫に内緒の資産の額	29
3. 夫に内緒の資産を持つ目的	31
4. 資産を得た方法	33
〔5〕主婦の家事労働	35
1. 主婦の家事労働の対価（月額）	35

. 調査概要

1. 調査の目的

損保ジャパン・ディー・アイ・ワイ生命保険株式会社では、家計を切り盛りしている主婦がわが家の家計をどのように感じ、将来に向けてどのような展望を持っているのかを探るため、サラリーマンの夫を持つ主婦を対象に“わが家の生活防衛策シリーズ”と題して家計の実態調査を実施してまいりました。

今回は、2008年夏に受給した夫のボーナスに対する主婦の反応や家計対策などに関する意識と実態を明らかにすることを目的に「サラリーマン世帯の主婦 500名に聞く、ボーナスと家計の実態調査」を実施しました。

2. 調査の実施要領

(1) 調査対象及びサンプル数

一般企業に勤めるサラリーマン世帯の20代から50代の主婦 500人

< サンプル配分 >

合計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳
500	125	125	125	125

(2) 調査方法

web 調査

(3) 調査時期

平成 20 年 6 月 13 日～6 月 16 日

(4) 調査項目

- ・この夏のボーナスの手取り額と、昨年と比較した増減額、今後の増減見通し
- ・ボーナスの主な使い道
- ・ボーナスの中から夫に渡したお小遣いの額
- ・家計の現状と今後の家計の見通し
- ・特に家計にひびく生活必需品の値上がり品目
- ・家計が苦しくても削りたくない支出
- ・自慢の家計節約術や地球にも家計にも優しいエコ対策
- ・家計に余裕があればしてみたいエコ対策
- ・臨時ボーナスをあげたいと思う人
- ・夫に内緒の自分の資産、金額・持つ目的・得た方法
- ・主婦の家事労働の対価（月額）
- ・回答者の基本属性
（自身の職業、世帯構成、夫の役職、夫の勤務先の業種、住居形態、世帯年収、など）

3. 回答者及び回答者の夫の基本属性

上段:件数、下段:割合(単位=%)

年齢

		サンプル数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	平均(歳)
全体		500 100.0	125 25.0	125 25.0	125 25.0	125 25.0	40.0
年代	20代	125 100.0	125 100.0	- -	- -	- -	25.0
	30代	125 100.0	- -	125 100.0	- -	- -	35.0
	40代	125 100.0	- -	- -	125 100.0	- -	45.0
	50代	125 100.0	- -	- -	- -	125 100.0	55.0

職業

		サンプル数	正規有職	パート・バイト	専業主婦
全体		500 100.0	68 13.6	120 24.0	312 62.4
年代	20代	125 100.0	16 12.8	23 18.4	86 68.8
	30代	125 100.0	16 12.8	17 13.6	92 73.6
	40代	125 100.0	13 10.4	44 35.2	68 54.4
	50代	125 100.0	23 18.4	36 28.8	66 52.8

世帯構成

		サンプル数	夫婦のみ	夫婦+子	親+子 夫婦+孫	親+子 夫婦	その他
全体		500 100.0	137 27.4	314 62.8	30 6.0	14 2.8	5 1.0
年代	20代	125 100.0	38 30.4	83 66.4	4 3.2	- -	- -
		125 100.0	44 35.2	71 56.8	6 4.8	3 2.4	1 0.8
	30代	125 100.0	26 20.8	90 72.0	5 4.0	3 2.4	1 0.8
		125 100.0	29 23.2	70 56.0	15 12.0	8 6.4	3 2.4
	40代	125 100.0	26 20.8	90 72.0	5 4.0	3 2.4	1 0.8
		125 100.0	29 23.2	70 56.0	15 12.0	8 6.4	3 2.4
	50代	125 100.0	29 23.2	70 56.0	15 12.0	8 6.4	3 2.4
		125 100.0	29 23.2	70 56.0	15 12.0	8 6.4	3 2.4

扶養中の子供の有無

		サンプル数	いる	いない
全体		500 100.0	312 62.4	188 37.6
年代	20代	125 100.0	84 67.2	41 32.8
		125 100.0	73 58.4	52 41.6
	30代	125 100.0	87 69.6	38 30.4
		125 100.0	68 54.4	57 45.6
	40代	125 100.0	87 69.6	38 30.4
		125 100.0	68 54.4	57 45.6
	50代	125 100.0	68 54.4	57 45.6
		125 100.0	68 54.4	57 45.6

夫の役職

		サンプル数	役職なし	係長・主任クラス	課長クラス	部長クラス以上
全体		500 100.0	183 36.6	140 28.0	108 21.6	69 13.8
年代	20代	125 100.0	85 68.0	35 28.0	4 3.2	1 0.8
	30代	125 100.0	55 44.0	40 32.0	22 17.6	8 6.4
	40代	125 100.0	19 15.2	41 32.8	44 35.2	21 16.8
	50代	125 100.0	24 19.2	24 19.2	38 30.4	39 31.2

夫の勤務先の業種

		サンプル数	水産・農業・林業	建設業	製造業	電気・ガス業	運輸・情報通信	商業	金融・不動産・保険	サービス業
全体		500 100.0	5 1.0	45 9.0	173 34.6	37 7.4	66 13.2	48 9.6	126 25.2	
年代	20代	125 100.0	2 1.6	8 6.4	36 28.8	9 7.2	17 13.6	11 8.8	42 33.6	
	30代	125 100.0	1 0.8	18 14.4	39 31.2	11 8.8	16 12.8	15 12.0	25 20.0	
	40代	125 100.0	-	11 8.8	46 36.8	9 7.2	17 13.6	11 8.8	31 24.8	
	50代	125 100.0	2 1.6	8 6.4	52 41.6	8 6.4	16 12.8	11 8.8	28 22.4	

夫の勤務地

		サンプル数	北海道・東北	関東エリア	中部エリア	近畿エリア	中国・四国	九州・沖縄
全体		500 100.0	64 12.8	231 46.2	61 12.2	85 17.0	29 5.8	30 6.0
年代	20代	125 100.0	16 12.8	53 42.4	14 11.2	21 16.8	8 6.4	13 10.4
	30代	125 100.0	15 12.0	59 47.2	14 11.2	25 20.0	5 4.0	7 5.6
	40代	125 100.0	20 16.0	55 44.0	17 13.6	20 16.0	7 5.6	6 4.8
	50代	125 100.0	13 10.4	64 51.2	16 12.8	19 15.2	9 7.2	4 3.2

住まいの形態

		サンプル数	一戸建て持ち家	一戸建て借家	分譲集合住宅	賃貸集合住宅	社宅・寮	*持ち家
全体		500 100.0	205 41.0	17 3.4	108 21.6	136 27.2	34 6.8	313 62.6
年代	20代	125 100.0	24 19.2	3 2.4	16 12.8	67 53.6	15 12.0	40 32.0
	30代	125 100.0	47 37.6	8 6.4	26 20.8	35 28.0	9 7.2	73 58.4
	40代	125 100.0	52 41.6	4 3.2	40 32.0	24 19.2	5 4.0	92 73.6
	50代	125 100.0	82 65.6	2 1.6	26 20.8	10 8.0	5 4.0	108 86.4

現在の住宅ローンの有無

		サンプル数	ある	ない
全体		500 100.0	224 44.8	276 55.2
年代	20代	125 100.0	32 25.6	93 74.4
	30代	125 100.0	66 52.8	59 47.2
	40代	125 100.0	76 60.8	49 39.2
	50代	125 100.0	50 40.0	75 60.0

世帯年収(税込み)

		サンプル数	400万円未満	400万円未満 600万円	600万円未満 800万円	800万円未満 1000万円	1000万円以上	平均(万円)
全体		500 100.0	42 8.4	150 30.0	120 24.0	81 16.2	107 21.4	724.4
年代	20代	125 100.0	25 20.0	66 52.8	25 20.0	5 4.0	4 3.2	535.2
	30代	125 100.0	11 8.8	52 41.6	36 28.8	11 8.8	15 12.0	647.2
	40代	125 100.0	4 3.2	20 16.0	43 34.4	29 23.2	29 23.2	794.4
	50代	125 100.0	2 1.6	12 9.6	16 12.8	36 28.8	59 47.2	920.8

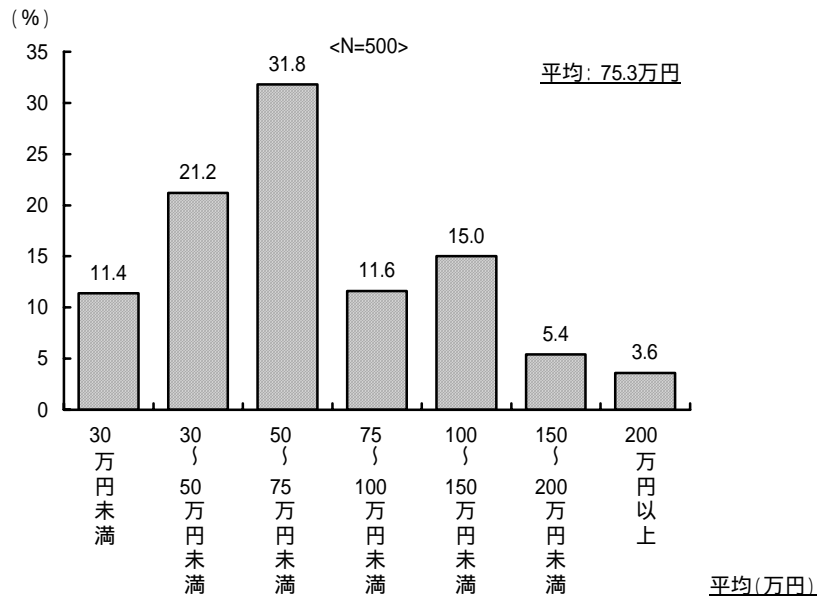
. 調査結果

〔1〕夫のこの夏のボーナス

1. 夫のこの夏のボーナスの手取り額

「50～75万円未満」(31.8%)が3割強を占める。平均金額は75.3万円。

図1. 夫のこの夏のボーナスの手取り額



年代	平均(万円)								
	20代 <n=125>	30代 <n=125>	40代 <n=125>	50代 <n=125>	30万円未満	30～50万円未満	50～75万円未満	75～100万円未満	
20代 <n=125>	19.2	36.8	33.6	6.4	1.6	1.6	0.8	50.5	
30代 <n=125>	11.2	24.0	35.2	12.0	11.2	3.2	3.2	70.8	
40代 <n=125>	6.4	15.2	31.2	14.4	20.0	8.8	4.0	83.3	
50代 <n=125>	8.8	8.8	27.2	13.6	27.2	8.0	6.4	96.7	
夫の役職	役職なし <n=183>	18.6	30.6	35.5	8.7	4.9	0.5	1.1	56.7
	係長・主任クラス <n=140>	9.3	25.0	39.3	13.6	10.7	2.1	-	61.2
	課長クラス以上 <n=177>	5.6	8.5	22.0	13.0	28.8	13.0	9.0	105.7

夫が受け取ったこの夏のボーナス(家族のボーナスは含みません)は手取り額でいくらだったのか、家計を預かるサラリーマン世帯の主婦に聞きました。

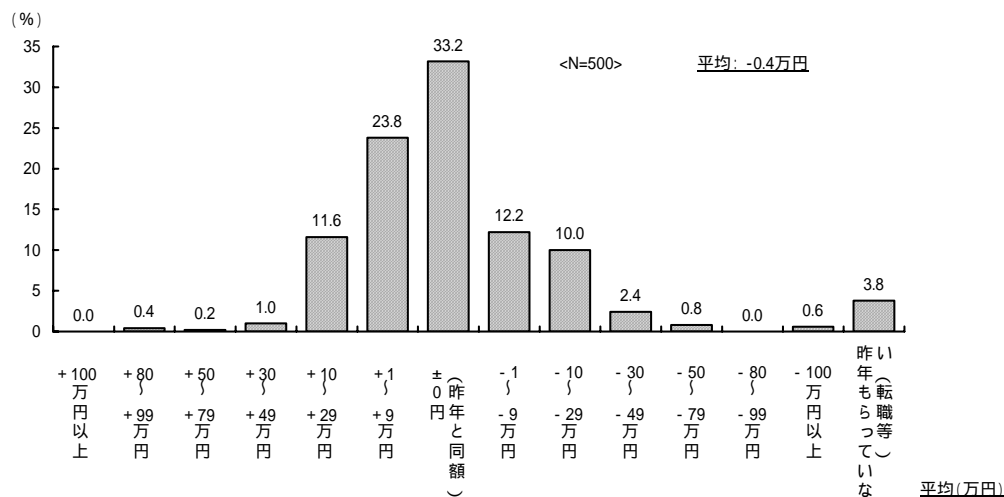
「50～75万円未満」(31.8%)が3割強を占めています。そのほか、「30～50万円未満」(21.2%)が2割強、「100～150万円未満」(15.0%)、「75～100万円未満」(11.6%)、「30万円未満」(11.4%)が1割強などとなっています。平均金額は75.3万円です。

- 年代別に見ると、20代は「30～50万円未満」(36.8%)が多く平均は50.5万円ですが、30代・40代は「50～75万円未満」(35.2%、31.2%)が多く平均は70.8万円と83.3万円、50代は「50～75万円未満」と「100～150万円未満」(各27.2%)が多く平均は96.7万円となっています。
- 夫の役職別に見ると、役職なし・係長・主任クラスは「50～75万円未満」(35.5%、39.3%)が多く平均は56.7万円と61.2万円です。課長クラス以上は「100～150万円未満」(28.8%)が多く平均は105.7万円となっています。

2. 昨年夏のボーナスとの手取り額の比較

“ 増えた ” が 37.0%、「昨年と同額」が 33.2%、“ 減った ” が 26.0%。平均は - 0.4 万円。

図2. 昨年夏のボーナスと比較した手取りの増減額



年代	増減額 (円)	割合 (%)														平均 (万円)
		+100	+80	+50	+30	+10	+1	±0	-1	-10	-30	-50	-80	-100	昨	
年代	20代 <n=125>	-	0.8	-	2.4	13.6	30.4	29.6	11.2	4.0	2.4	-	-	-	5.6	3.8
	30代 <n=125>	-	-	-	-	12.8	26.4	32.8	8.8	11.2	1.6	-	-	-	6.4	0.6
	40代 <n=125>	-	-	-	1.6	13.6	16.8	38.4	15.2	8.8	0.8	0.8	-	2.4	1.6	-1.8
	50代 <n=125>	-	0.8	0.8	-	6.4	21.6	32.0	13.6	16.0	4.8	2.4	-	-	1.6	-3.8
夫の役職	役職なし <n=183>	-	0.5	-	1.1	13.1	30.1	29.0	10.9	7.1	1.1	0.5	-	-	6.6	2.5
	係長・主任クラス <n=140>	-	-	0.7	0.7	8.6	22.1	36.4	15.0	12.1	2.9	-	-	-	1.4	-0.8
	課長クラス以上 <n=177>	-	0.6	-	1.1	12.4	18.6	35.0	11.3	11.3	3.4	1.7	-	1.7	2.8	-2.8

では、この夏のボーナスの手取り額は昨年の夏と比べてどれくらい増えたり減ったりしたのでしょうか。昨年夏のボーナスと比較した増減額を聞きました。

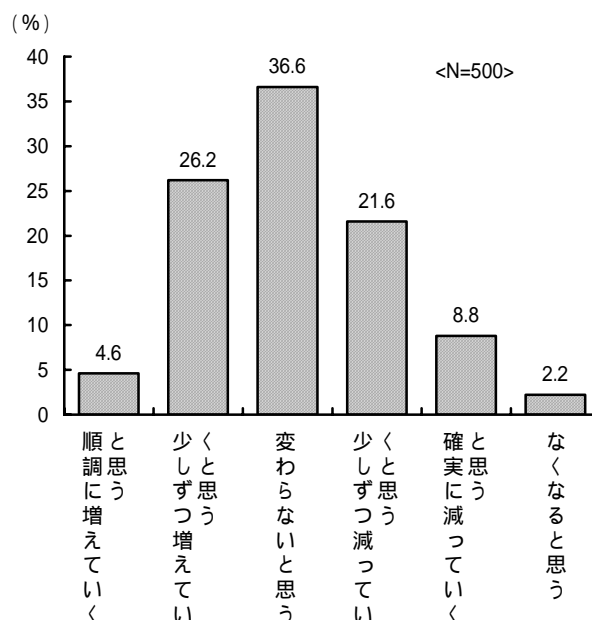
“ 増えた ” が 37.0%を占めており、「±0円 (昨年と同額)」が 33.2%、“ 減った ” が 26.0%となっています。また、“ 増えた ” のなかで「+1~9万円」が最も多く 23.8%を占めています。平均は - 0.4 万円と、やや減少しています。

- 年代別に見ると、20代 は「+1~9万円」(30.4%)が多く増減額の平均は+3.8万円を示していますが、30代 40代 50代 は「±0円」(32.8%、38.4%、32.0%)が多く、増減額の平均は 30代 が+0.6万円にとどまり、40代 50代 はそれぞれ - 1.8万円、- 3.8万円と減額しています。
- 夫の役職別に見ると、役職なし は「+1~9万円」(30.1%)が多く、増減額の平均は+2.5万円と増額していますが、係長・主任クラス 課長クラス以上 は「±0円」(36.4%、35.0%)が多く、増減額の平均はそれぞれ - 0.8万円、- 2.8万円と減額しています。役職があがるほど減額が大きくなっています。

3. 夫のボーナスの今後の見通し

「変わらないと思う」(36.6%)が最も多いものの、「減っていくと思う」(32.6%)が“増えていくと思う”(30.8%)をわずかに上回る。

図3. 夫のボーナスの今後の見通し



年代	20代 <n=125>	11.2	44.0	25.6	13.6	5.6	-
	30代 <n=125>	4.8	30.4	41.6	17.6	4.0	1.6
40代 <n=125>	1.6	19.2	42.4	27.2	9.6	-	
50代 <n=125>	0.8	11.2	36.8	28.0	16.0	7.2	
夫の役職	役職なし <n=183>	6.6	33.9	35.0	16.4	6.6	1.6
	係長・主任クラス <n=140>	3.6	25.7	36.4	22.9	10.7	0.7
	課長クラス以上 <n=177>	3.4	18.6	38.4	26.0	9.6	4.0
夫の勤務地	北海道・東北エリア <n=64>	-	25.0	43.8	21.9	7.8	1.6
	関東エリア <n=231>	5.6	28.1	41.1	15.6	7.8	1.7
	中部エリア <n=61>	6.6	16.4	27.9	29.5	13.1	6.6
	近畿エリア <n=85>	4.7	25.9	32.9	25.9	9.4	1.2
	中国・四国エリア <n=29>	-	17.2	37.9	37.9	3.4	3.4
	九州・沖縄エリア <n=30>	6.7	43.3	13.3	23.3	13.3	-

夫のボーナスは今後どうなっていくと主婦は見通しているのでしょうか。夫のボーナスの今後の見通しについて聞きました。

「変わらないと思う」(36.6%)が3割強を占め最も多くなっています。「順調に増えていくと思う」(4.6%)、「少しずつ増えていくと思う」(26.2%)を合わせた「増えていくと思う」(30.8%)は3割となっており、「少しずつ減っていくと思う」(21.6%)、「確実に減っていくと思う」(8.8%)、「なくなると思う」(2.2%)を合わせた「減っていくと思う」(32.6%)がわずかに上回っています。

- 年代別に見ると、20代は「少しずつ増えていくと思う」(44.0%)が4割強を占め、「順調に増えていくと思う」(11.2%)も1割強で他の年代を上回っており、「増えていくと思う」(55.2%)が半数以上を占めています。

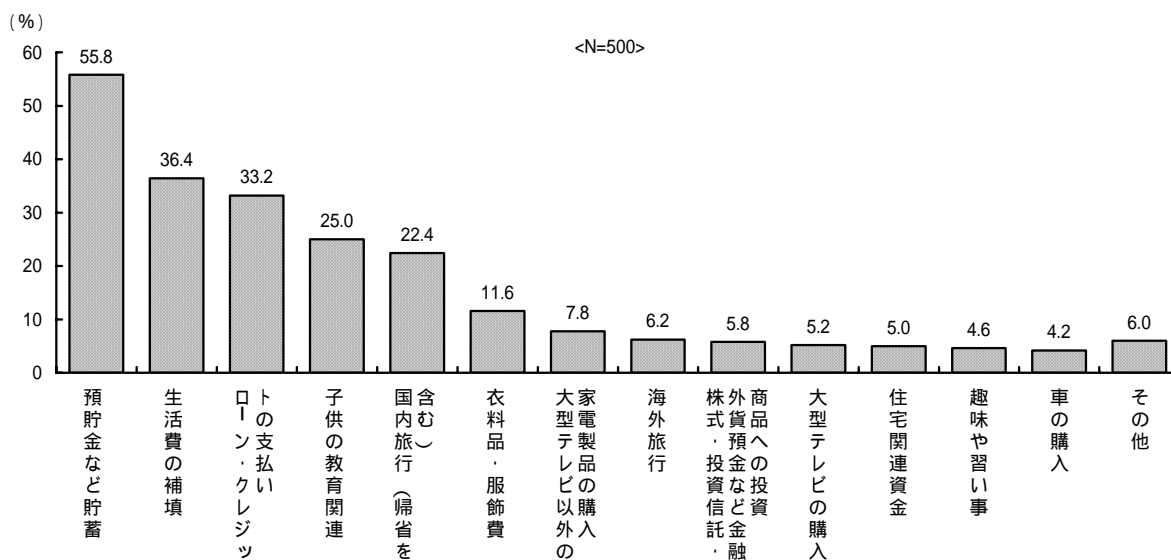
一方、30代 40代 50代 は「変わらないと思う」(41.6%、42.4%、36.8%)が最も多く、“増えていくと思う”(35.2%、20.8%、12.0%)は年齢の高い人ほど少なくなっています。さらに40代 50代 では「少しずつ減っていくと思う」(27.2%、28.0%)が3割弱にのぼっています。

- 夫の役職別に見ると、いずれの層でも「変わらないと思う」が3割を超えて最も多くなっていますが(役職なし 35.0%、 係長・主任クラス 36.4%、 課長クラス以上 38.4%)、 役職なし は「少しずつ増えていくと思う」(33.9%)も少なくありません。
- 夫の勤務地別に見ると、九州・沖縄エリア は「順調に増えていくと思う」(6.7%)、「少しずつ増えていくと思う」(43.3%)がともに他のエリアを上回っており、他のエリアよりもボーナスに対して明るい見通しが立てられるようです。一方、中部エリア は「なくなると思う」(6.6%)が他のエリアを上回り「確実に減っていくと思う」(13.1%)も比較的多めです。また、中国・四国エリア は「少しずつ減っていくと思う」(37.9%)が他のエリアを上回っています。

4. ボーナスの主な使い道

「預貯金など貯蓄」(55.8%)が最も多く、「生活費の補填」(36.4%)、「ローン・クレジットの支払い」(33.2%)が続く。

図4. この夏のボーナスの使い道【複数回答】



サラリーマン世帯では、この夏のボーナスをどのようなことに使うのでしょうか。ボーナスの主な使い道をあげてもらいました。

最も多いのは「預貯金など貯蓄」(55.8%)で、5割を超え突出しています。以下、「生活費の補填」(36.4%)、「ローン・クレジットの支払い」(33.2%)が3割強、「子供の教育関連」(25.0%)、「国内旅行(帰省を含む)」(22.4%)が2割強で続いています。

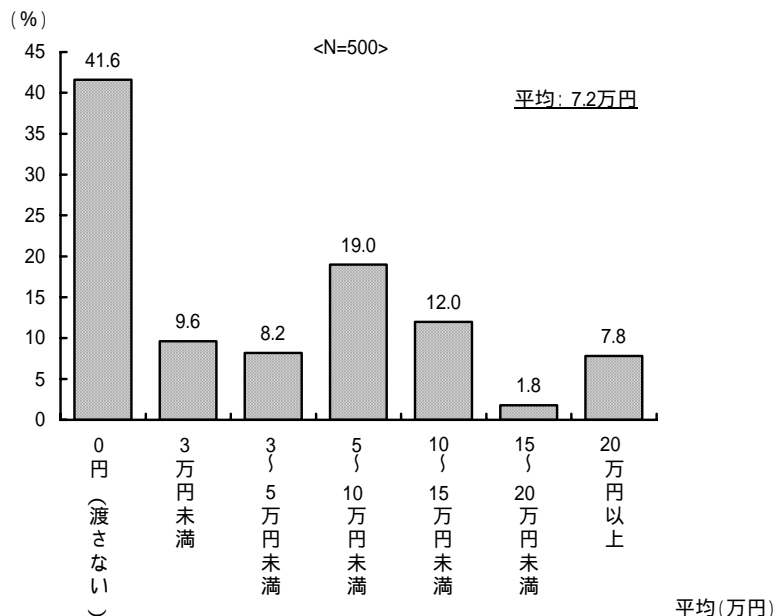
		サンプル数	預貯金など貯蓄	生活費の補填	ローンの支払い ローン・クレジット	子供の教育関連	国内旅行 (帰省を含む)	衣料品・服飾費	品の購入 大型テレビ以外の家電製	海外旅行	金融商品への投資 信託・外貨預金など	大型テレビの購入	住宅関連資金	趣味や習い事	車の購入	その他
年代	20代	125	68.8	33.6	28.0	20.8	16.8	12.0	5.6	4.0	4.8	3.2	4.8	4.0	4.0	7.2
	30代	125	56.0	30.4	36.0	16.8	23.2	12.0	8.8	6.4	3.2	5.6	3.2	5.6	4.8	7.2
	40代	125	47.2	47.2	48.8	37.6	25.6	14.4	10.4	7.2	4.8	4.0	5.6	4.8	1.6	7.2
	50代	125	51.2	34.4	20.0	24.8	24.0	8.0	6.4	7.2	10.4	8.0	6.4	4.0	6.4	2.4
子供の有無	いる	312	49.0	42.0	37.2	37.2	21.5	12.5	6.7	4.2	3.8	5.4	6.1	3.8	4.8	4.5
	いない	188	67.0	27.1	26.6	4.8	23.9	10.1	9.6	9.6	9.0	4.8	3.2	5.9	3.2	8.5
ローンの有無	ある	224	50.0	40.2	57.1	30.4	23.7	10.3	6.7	5.8	3.1	4.5	3.6	1.8	5.4	7.1
	ない	276	60.5	33.3	13.8	20.7	21.4	12.7	8.7	6.5	8.0	5.8	6.2	6.9	3.3	5.1
世帯年収	600万円未満	192	52.6	37.5	31.8	19.3	17.7	9.4	7.3	2.1	2.6	3.1	3.1	3.6	3.1	6.8
	600～800万円未満	120	60.8	43.3	37.5	30.8	20.0	10.8	8.3	4.2	0.8	5.8	6.7	4.2	1.7	7.5
	800～1000万円未満	81	58.0	39.5	38.3	23.5	28.4	17.3	7.4	6.2	8.6	7.4	6.2	3.7	4.9	3.7
	1000万円以上	107	54.2	24.3	27.1	29.9	29.0	12.1	8.4	15.9	15.0	6.5	5.6	7.5	8.4	4.7
ボーナス額	50万円未満	163	51.5	39.3	28.8	17.8	15.3	9.2	6.1	3.1	0.6	2.5	1.2	2.5	1.8	5.5
	50～100万円未満	217	60.4	36.9	36.4	26.3	23.0	12.4	7.8	4.6	5.1	5.5	6.0	4.6	6.5	6.5
	100万円以上	120	53.3	31.7	33.3	32.5	30.8	13.3	10.0	13.3	14.2	8.3	8.3	7.5	3.3	5.8

- 年代別に見ると、20代では「預貯金など貯蓄」(68.8%)が7割近くにのぼり際立っています。30代50代でも「預貯金など貯蓄」(56.0%、51.2%)が半数強でトップとなっていますが、40代では「ローン・クレジットの支払い」(48.8%)が最も多く、「生活費の補填」(47.2%)や「子供の教育関連」(37.6%)も他の年代を大きく上回っています。
- 扶養中の子供の有無別に見ると、どちらも「預貯金など貯蓄」が最も多くなっていますが、特に子供のいない人(67.0%)ではとりわけ多く、子供のいる人(49.0%)を上回っています。一方、子供のいる人は「生活費の補填」(42.0%)、「子供の教育関連」「ローン・クレジットの支払い」(各37.2%)が子供のいない人(27.1%、4.8%、26.6%)を大きく上回っており、扶養中の子供がいる家庭の何かと物入りな生活ぶりを想像させます。
- 住宅ローンの有無別に見ると、ローンのない人では「預貯金など貯蓄」(60.5%)が最も多くあげられています。ローンのある人では「ローン・クレジットの支払い」(57.1%)が最も多く、「預貯金など貯蓄」(50.0%)は5割となっています。そのほか、「生活費の補填」(40.2%)、「子供の教育関連」(30.4%)もローンのない人(33.3%、20.7%)を上回っています。
- 世帯年収別に見ると、600～800万円未満は「生活費の補填」(43.3%)、「子供の教育関連」(30.8%)が他の層を上回っています。
- ボーナス額別に見ると、100万円以上は「子供の教育関連」(32.5%)、「国内旅行(帰省を含む)」(30.8%)が3割強となっており、他の層を上回っているのが目につきます。

5. ボーナスの中から夫に渡した小遣い

「渡した」(58.4%)は6割弱で、4割強が「渡さない」(41.6%)。渡した額は平均7.2万円。

図5. ボーナスの中から夫に渡した小遣い



年代	平均(万円)								
	20代 <n=125>	30代 <n=125>	40代 <n=125>	50代 <n=125>	子供有無	受給額	平均	標準偏差	
20代 <n=125>	43.2	16.8	7.2	23.2	4.0	0.8	4.8	4.4	
30代 <n=125>	47.2	10.4	10.4	12.8	10.4	0.8	8.0	8.8	
40代 <n=125>	40.8	5.6	6.4	20.8	16.0	3.2	7.2	6.4	
50代 <n=125>	35.2	5.6	8.8	19.2	17.6	2.4	11.2	9.3	
子供の有無	いる <n=312>	41.7	11.5	9.9	20.5	9.3	1.6	5.4	6.0
	いない <n=188>	41.5	6.4	5.3	16.5	16.5	2.1	11.7	9.2
受給額	50万円未満 <n=163>	50.9	16.0	13.5	14.1	2.5	0.6	2.5	2.5
	50～100万円未満 <n=217>	36.4	10.1	7.8	25.8	13.8	0.9	5.1	5.5
	100万円以上 <n=120>	38.3	-	1.7	13.3	21.7	5.0	20.0	16.6

今回のボーナスの中から夫に小遣いとしていくくらい渡した(渡そうと思っている)のでしょうか。渡した(渡そうと思っている)金額を具体的にあげてもらいました。

「渡した(渡そうと思っている)」(58.4%)は全体の6割弱で、4割強が「渡さない」(41.6%)と回答しています。

次に、「渡した」と回答した主婦が夫に渡した(渡す予定の)金額を見ると、「5～10万円未満」(19.0%)がおよそ2割、「10～15万円未満」(12.0%)が1割強などとなっています。

平均は7.2万円(「渡さない」を含めた全サンプルの平均金額)です。

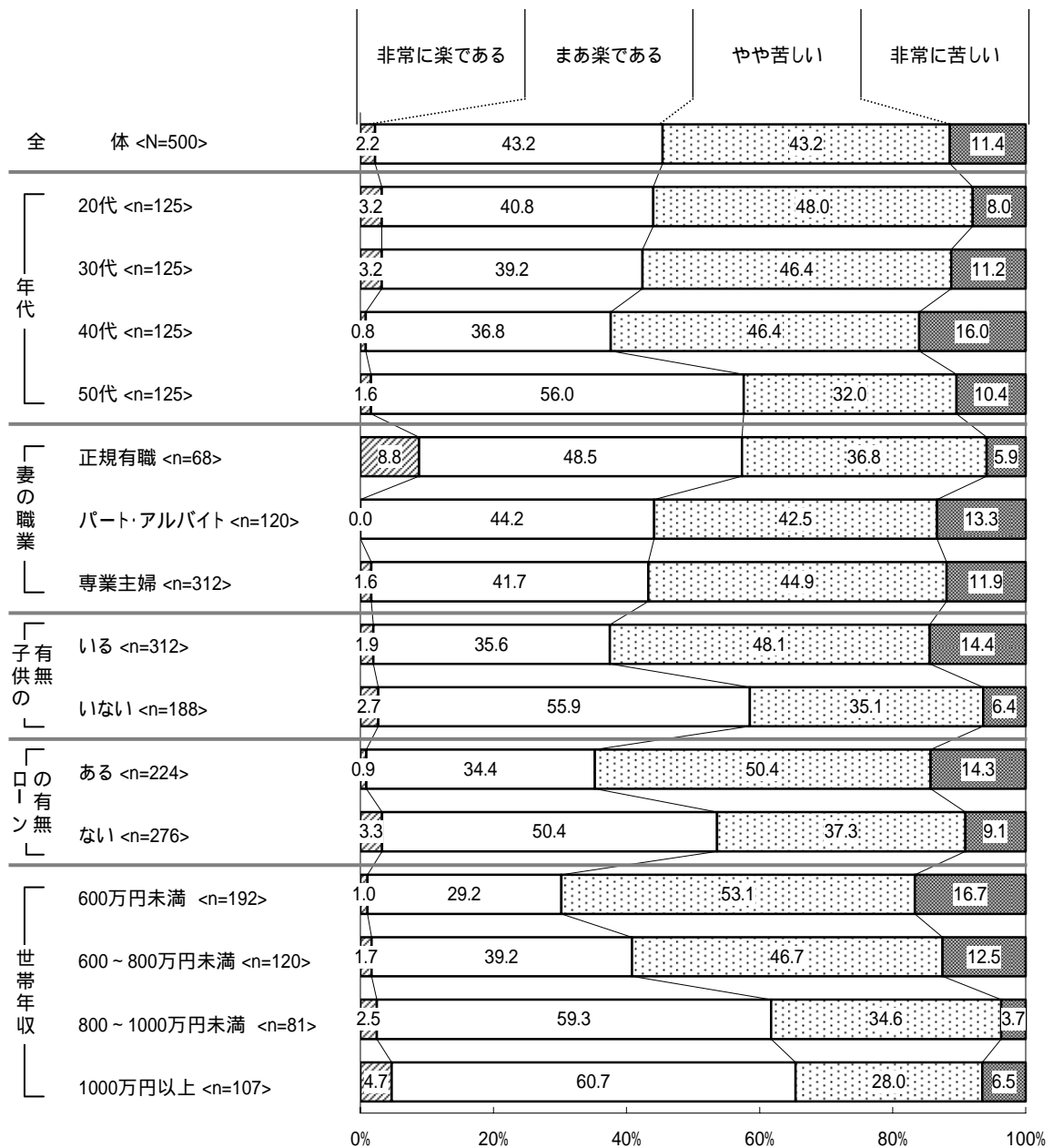
- 年代別に平均金額を見ると、20代が4.4万円、30代が8.8万円、40代が6.4万円、50代が9.3万円となっており、40代が30代50代と比較して低くなっています。
- 扶養中の子供の有無別に平均金額を見ると、子供のいる人は6.0万円で、子供のいない人の9.2万円を下回っています。
- ボーナス受給額別に平均金額を見ると、50万円未満が2.5万円、50～100万円未満が5.5万円、100万円以上が16.6万円です。

〔2〕わが家の家計

1. 現状での家計の苦しさ

“ 苦しい ” (54.6%) が半数強を占め、“ 楽である ” (45.4%) は4割強。

図6. 現状で家計が苦しいと感じるか



家計をやりくりしている主婦は、現在の家計を苦しいと感じているのでしょうか。サラリーマン世帯の家計の現状について聞きました。

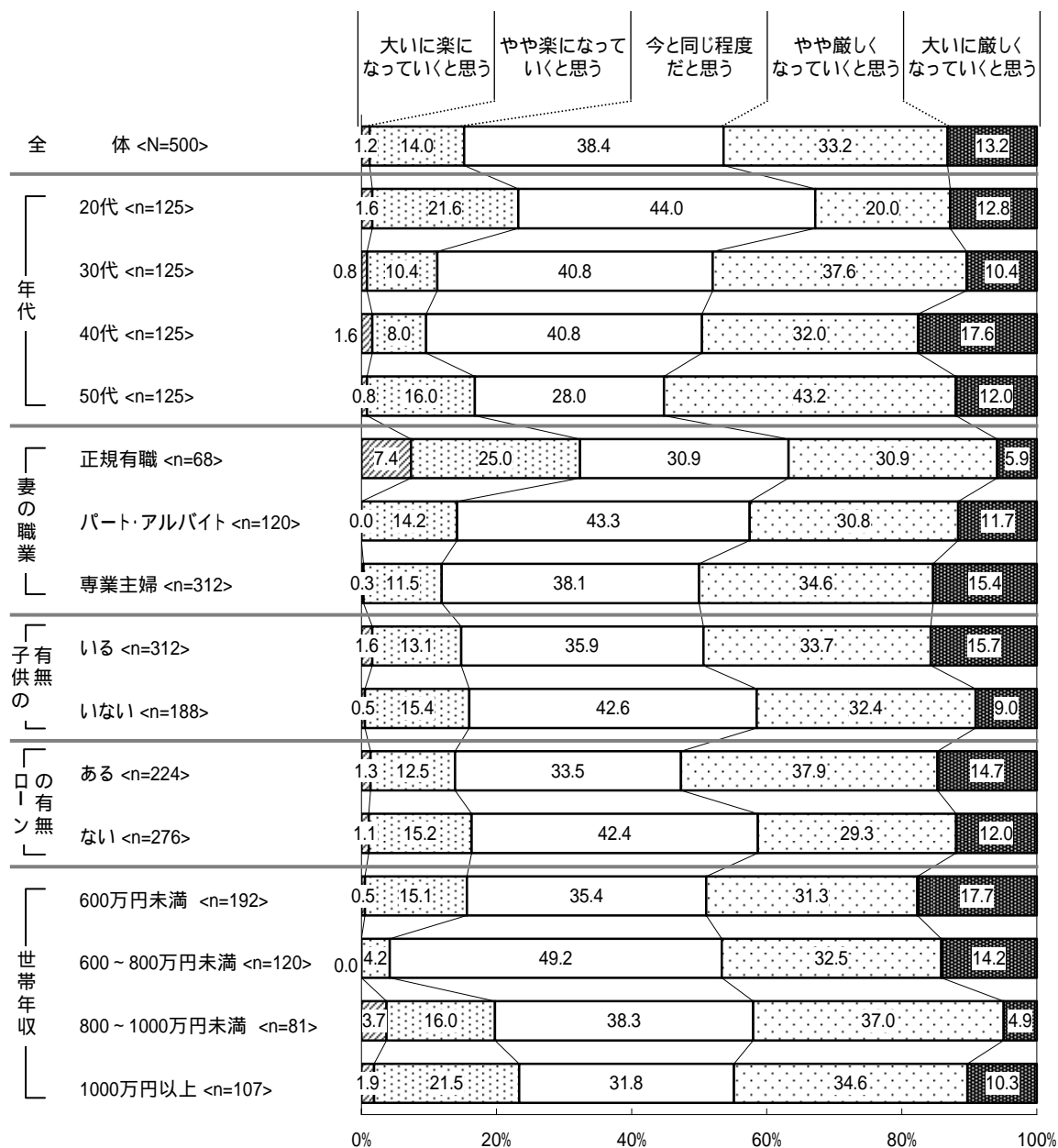
「まあ楽である」「やや苦しい」はともに43.2%と同じ割合ですが、「非常に苦しい」(11.4%)が1割を超えており「やや苦しい」を合わせた“苦しい”(54.6%)が「非常に楽である」(2.2%)と「まあ楽である」を合わせた“楽である”(45.4%)を上回っています。

- 年代別に見ると、40代は「非常に苦しい」(16.0%)が他の年代をやや上回っており、「苦しい」(62.4%)が全ての年代のなかで最も多くなっています。一方、50代は「まあ楽である」(56.0%)が半数を超え、「楽である」(57.6%)が全ての年代のなかで最も多くなっています。
- 妻の職業別に見ると、正規有職は「楽である」(57.4%)が6割弱を占め「苦しい」(42.6%)を上回っているのに対して、専業主婦 パート・アルバイト では「苦しい」(56.7%、55.8%)が半数を超えています。
- 扶養中の子供の有無別に見ると、子供のいない人では「楽である」(58.5%)が6割弱を占めていますが、子供のいる人では「楽である」(37.5%)が4割弱にとどまり、「苦しい」(62.5%)が6割強を占めています。
- 住宅ローンの有無別に見ると、ローンのない人は「楽である」(53.6%)が半数強を占めていますが、ローンのある人では「苦しい」(64.7%)が6割を超えています。
- 世帯年収別に見ると、年収が低い人ほど「苦しい」が多く、600万円未満ではほぼ7割が「苦しい」(69.8%)、600~800万円未満ではほぼ6割が「苦しい」(59.2%)と答えていますが、1,000万円以上 800~1,000万円未満では「楽である」(65.4%、61.7%)が6割強を占めています。

2. 今後の家計の見通し

“厳しくなっていくと思う”(46.4%)が4割強を占め、「今と同じ程度だと思う」(38.4%)が4割弱、“楽になっていくと思う”(15.2%)は1割強にとどまる。

図7. 今後の家計の見通し



では、今後の家計についてはどのように見通しているのでしょうか。今後の家計の見通しについて聞きました。

最も多いのは「今と同じ程度だと思う」(38.4%)で4割弱を占めています。小差で「やや厳しくなっていくと思う」(33.2%)が続き、「大いに厳しくなっていくと思う」(13.2%)を合わせると“厳しくなっていくと思う”(46.4%)との悲観的な見通しが4割強を占めます。一方、「大いに楽にならなっていくと思う」(1.2%)はごくわずかで、「やや楽にならなっていくと思う」(14.0%)を合わせても“楽にならなっていくと思う”(15.2%)と楽観的に見通している人は1割強にすぎま

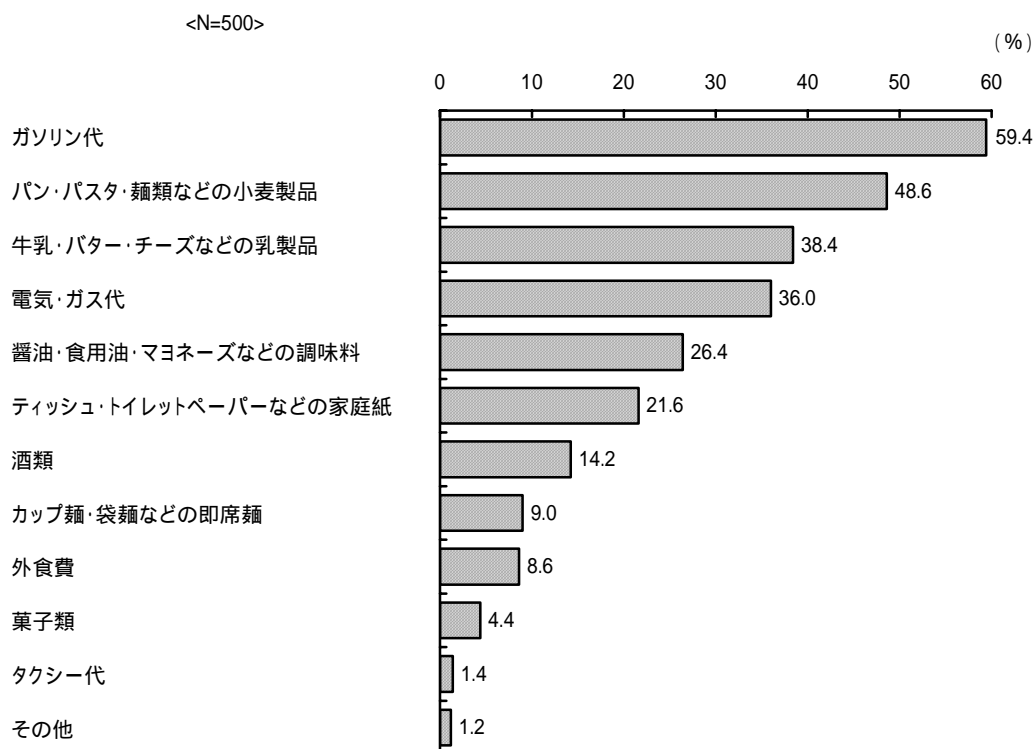
せん。

- 年代別に見ると、20代 30代 40代 は「今と同じ程度だと思う」(44.0%、40.8%、40.8%)が4割強を占め最も多いのに対して、50代 は「やや厳しくなっていくと思う」(43.2%)が最も多いなど、年齢が高くなるにしたがって“厳しくなっていくと思う”が増えています。前章で、現在最も“楽である”と言っている人の多い50代 が今後を最も厳しく見通しています。
- 妻の職業別に見ると、正規有職 は“楽になっていくと思う”(32.4%)が3割強にのぼり、「今と同じ程度だと思う」(30.9%)“厳しくなっていくと思う”(36.8%)とともにほぼ同程度の割合となっています。一方、パート・アルバイト 専業主婦 は“厳しくなっていくと思う”(42.5%、50.0%)が4～5割を占めており、“楽になっていくと思う”(14.2%、11.9%)は1割強にとどまっています。
- 扶養中の子供の有無別に見ると、子供のいない人 は「今と同じ程度だと思う」(42.6%)が4割強を占め“厳しくなっていくと思う”(41.5%)をわずかに上回っていますが、子供のいる人 では“厳しくなっていくと思う”(49.4%)が「今と同じ程度だと思う」(35.9%)を上回っており、子供のいる人の方がやや厳しく見通しています。なお“楽になっていくと思う”は子供のいる人(14.7%)子供のいない人(16.0%)ともに1割強にとどまっています。
- 住宅ローンの有無別に見ると、ローンのない人 は「今と同じ程度だと思う」(42.4%)が4割強を占めており“厳しくなっていくと思う”(41.3%)とほぼ同じ割合であるのに対して、ローンのある人 では“厳しくなっていくと思う”(52.7%)が半数強を占め「今と同じ程度だと思う」(33.5%)は3割強となっています。なお“楽になっていくと思う”はローンのある人(13.8%)ローンのない人(16.3%)ともに1割強にとどまっています。
- 世帯年収別に見ると、600～800万円未満 は「今と同じ程度だと思う」(49.2%)がほぼ5割と他の層を大きく上回っており、“楽になっていくと思う”(4.2%)はごくわずかです。“厳しくなっていくと思う”はいずれの層も4～5割程度で大差ありません。

3. 家計に特にひびく生活必需品の値上がり

「ガソリン代」(59.4%)が最も多く、以下「パン・ Pasta・ 麺類などの小麦製品」(48.6%)、「牛乳・バター・チーズなどの乳製品」(38.4%)「電気・ガス代」(36.0%)が続く。

図8. 家計に特にひびく生活必需品の値上がり【3つまで】



生活必需品の値上がりが続いています。その中でもとりわけ家計にひびくものを3つまであげてもらいました。

最も多いのは「ガソリン代」(59.4%)で、ほぼ6割の人があげています。次いで多いのが「パン・ Pasta・ 麺類などの小麦製品」(48.6%)で5割弱となっています。以下、「牛乳・バター・チーズなどの乳製品」(38.4%)「電気・ガス代」(36.0%)が3割強、「醤油・食用油・マヨネーズなどの調味料」(26.4%)「ティッシュ・トイレtpーパーなどの家庭紙」(21.6%)が2割強、「酒類」(14.2%)が1割強などとなっています。

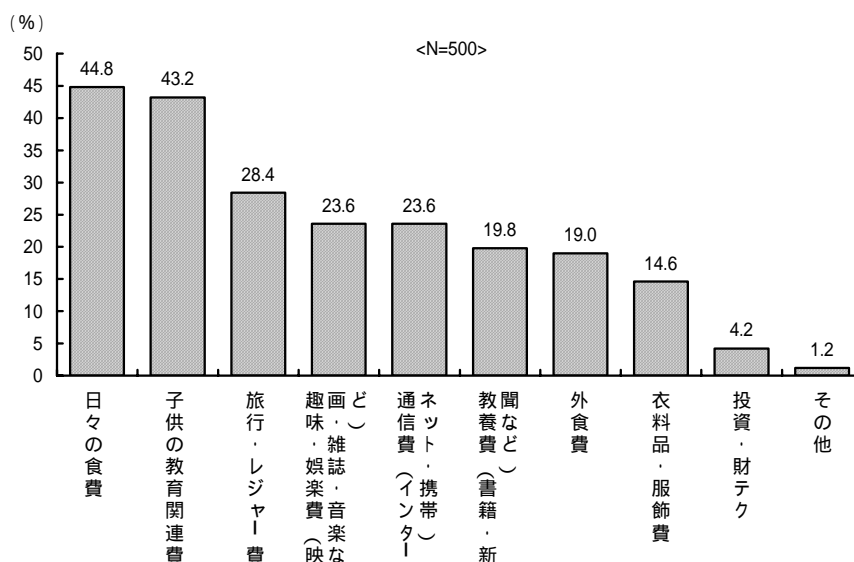
		サンプル数	ガソリン代	パン・小麦製品・パスタ・麺類など	牛乳・バター・チーズなどの乳製品	電気・ガス代	醤油・食用油・マヨネーズなどの調味料	ティッシュ・トイレットペーパーなどの家庭紙	酒類	カップ麺・席麺・袋麺などの即席	外食費	菓子類	タクシー代	その他
年代	20代	125	62.4	46.4	44.0	32.8	28.0	27.2	17.6	7.2	10.4	4.0	-	0.8
	30代	125	64.8	50.4	36.8	35.2	24.8	20.8	8.0	12.8	7.2	4.8	1.6	0.8
	40代	125	59.2	53.6	37.6	38.4	24.8	21.6	10.4	8.8	7.2	4.0	2.4	1.6
	50代	125	51.2	44.0	35.2	37.6	28.0	16.8	20.8	7.2	9.6	4.8	1.6	1.6
子供の有無	いる	312	60.9	49.7	40.4	36.5	24.7	20.2	12.8	11.9	7.4	5.8	0.3	1.6
	いない	188	56.9	46.8	35.1	35.1	29.3	23.9	16.5	4.3	10.6	2.1	3.2	0.5
世帯年収	600万円未満	192	65.1	49.5	43.2	31.3	28.6	23.4	11.5	9.9	8.3	4.7	1.0	0.5
	600～800万円未満	120	65.8	46.7	30.0	47.5	20.8	21.7	12.5	6.7	9.2	3.3	0.8	2.5
	800～1000万円未満	81	48.1	48.1	35.8	33.3	28.4	23.5	18.5	6.2	11.1	6.2	-	1.2
	1000万円以上	107	50.5	49.5	41.1	33.6	27.1	16.8	17.8	12.1	6.5	3.7	3.7	0.9
家計の現状	楽である	227	60.8	48.9	36.1	30.0	22.5	18.1	15.0	8.8	9.7	4.0	2.6	1.3
	苦しい	273	58.2	48.4	40.3	41.0	29.7	24.5	13.6	9.2	7.7	4.8	0.4	1.1

- 年代別に見ると、「ガソリン代」「パン・小麦製品・麺類などの小麦製品」はいずれの年代でも多くあげられており年代による差はあまり見られませんが、「牛乳・バター・チーズなどの乳製品」や「ティッシュ・トイレットペーパーなどの家庭紙」は 20代（44.0%、27.2%）に多く、他の年代を上回っています。
- 扶養中の子供の有無別に見ても、さほど大きな違いは見られません。
- 世帯年収別に見ると、600万円未満 600～800万円未満 では「ガソリン代」（65.1%、65.8%）が圧倒的に多く、800～1,000万円未満（48.1%）や1,000万円以上（50.5%）を大きく上回っています。また、「電気・ガス代」は600～800万円未満（47.5%）で半数弱となっており、他の層（いずれも3割強）を大きく上回っています。
- 家計の現状別に見ると、「電気・ガス代」「醤油・食用油・マヨネーズなどの調味料」「ティッシュ・トイレットペーパーなどの家庭紙」「牛乳・バター・チーズなどの乳製品」は 苦しいと感じている人（41.0%、29.7%、24.5%、40.3%）に特に多く、楽と感じている人（30.0%、22.5%、18.1%、36.1%）を上回っています。

4. 家計が苦しくても削りたくない支出

「日々の食費」(44.8%)と「子供の教育関連費」(43.2%)がトップ2。

図9. 家計が苦しくても削りたくない支出【3つまで】



年代	20代 <n=125>	30代 <n=125>	40代 <n=125>	50代 <n=125>
子供の有無	44.2	63.1	25.3	18.6
世帯年収	600万円未満 <n=192>	600～800万円未満 <n=120>	800～1000万円未満 <n=81>	1000万円以上 <n=107>
家計の現状	楽である <n=227>	苦しい <n=273>		

これまで見てきたように、家計が苦しい、生活必需品の値上がりで困るという主婦が多いなか、家計が苦しくてもこれだけは支出を減らしたくないと思うものを3つまであげてもらいました。

最も多いのは「日々の食費」(44.8%)で、次いで「子供の教育関連費」(43.2%)となっています。この2項目はともに4割強の人があげています。以下、「旅行・レジャー費」(28.4%)が3割弱、「趣味・娯楽費(映画・雑誌・音楽など)」「通信費(インターネット・携帯)」「(各23.6%)」「教養費(書籍・新聞など)」「(19.8%)」「外食費」(19.0%)が2割前後などとなっています。

- 年代別に見ると、いずれの年代でも「日々の食費」は4割を超えて多くなっていますが、30代・40代では「子供の教育関連費」(48.0%、58.4%)が「日々の食費」(47.2%、40.8%)を大きく上回り最も多くなっています。また、この年代は「通信費(インターネット・携帯)」(28.8%、28.0%)も3割弱と比較的多めです。一方、50代は「旅行・レジャー費」(34.4%)が、20代は「外食費」(25.6%)や「衣料品・服飾費」(20.8%)が他の年代より多いのが目につきます。
- 扶養中の子供の有無別に見ると、「趣味・娯楽費(映画・雑誌・音楽など)」(子供のいる人18.6%、子供のいない人31.9%)をはじめ、ほとんど全て子供のいない人が子供のいる人を上回っています。
- 世帯年収別に見ると、「旅行・レジャー費」は年収が多い人ほど多くあげており、反対に「外食費」は年収が少ない人ほど多くあげています。そのほか、600~800万円未満は「子供の教育関連費」(50.0%)が、800~1000万円未満は「教養費(書籍・新聞など)」(28.4%)が他の層より多くなっています。
- 家計の現状別に見ると、苦しいと感じている人は「子供の教育関連費」(51.3%)と「衣料品・服飾費」(17.6%)が楽と感じている人(33.5%、11.0%)よりも上回っています。一方、「趣味・娯楽費(映画・雑誌・音楽など)」「教養費(書籍・新聞など)」「旅行・レジャー費」は楽と感じている人(30.0%、26.0%、31.3%)が苦しいと感じている人(18.3%、14.7%、26.0%)より多くなっています。

5. 主婦ご自慢の家計節約術や家計管理術、地球にも家計にも優しいエコ対策

「エコバッグを持参する／エコバッグ持参でエコポイントを貯める」が 110 件でトップ。そのほか、「車に乗らない／なるべく歩く／自転車に乗る」(57 件)「ポイントのつくお店で買い物をする」(40 件) など。

表 1. 主婦ご自慢の家計節約術や家計管理術、地球にも家計にも優しいエコ対策(トップ 10)

順位	内容	件数
1	「エコバッグを持参する／エコバッグ持参でエコポイントを貯める」	110
2	「車に乗らない／なるべく歩く／自転車に乗る」	57
3	「ポイントのつくお店で買い物をする」	40
4	「安いときにまとめ買いをする」	35
5	「チラシをこまめにチェックする」	31
6	「コンセントをこまめに抜く／主電源をこまめに切る」	24
7	「なるべく買い物に行かない／買い物に行く日を減らす」	17
8	「クレジットカードで買い物をしてポイントを貯める」	14
9	「余計なものは買わない／決めたもの以外は買わない」	13
10	「無駄を出さない」	11

主婦ご自慢の家計節約術や家計管理術、あるいは地球にも家計にも優しいエコ対策を具体的にあげてもらいました。

トップ 10 は表 1 の通りです。そのほか、「いろいろなお店を回って安いものを探す」(10 件)、「安い店で買う」(10 件)、「外食をしない」(9 件)、「風呂の残り湯で洗濯をする」(9 件)、「ネットで安いものを探す」(7 件)、「値下がりする時間帯をねらって買い物をする」(5 件)、「家庭菜園を始めた」(4 件)、「安いものを買う」(4 件)、「電化製品はタイマーを使って深夜割引料金を利用する」(3 件)、「早寝早起きで電気代を節約する」(3 件)、「お腹の空いている時に買い物をしない」(2 件)、「太陽光発電にした」(2 件)、「風呂に続けて入る」(2 件) など、さまざまな内容があげられています。

6. 家計に余裕があればしてみたいエコ対策

「ハイブリッドカーに買い換える」(125件)などの“車の買い換え”と、「ソーラー発電システムを設置する」(111件)などの“住宅”に関する内容が多くあげられている。そのほか、“省電力タイプ電化製品への買い換え”など。

表2. 家計に余裕があればしてみたいエコ対策(トップ3)

順位	内容	件数
1	車の買い換え	161
	「ハイブリッドカーに買い換える」(125件)	
	「低燃費の車に買い換える」(21件)	
	「電気自動車を買う」(15件)	
"	住宅	161
	「ソーラー発電システムを設置する」(111件)	
	「オール電化にする」(37件)	
	「エコ仕様の家を建てる」(10件)	
	「外壁に断熱材を取り付ける」(2件)	
「屋上を緑化する」(1件)		
3	省電力タイプ電化製品への買い換え	38
	「電化製品を省電力タイプに買い換える」(19件)	
	「エアコンを省電力タイプに買い換える」(9件)	
	「冷蔵庫を省電力タイプに買い換える」(4件)	
	「テレビを省電力タイプに買い換える」(2件)	
	「洗濯機を省電力タイプに買い換える」(2件)	
「電灯を省電力タイプに買い換える」(2件)		

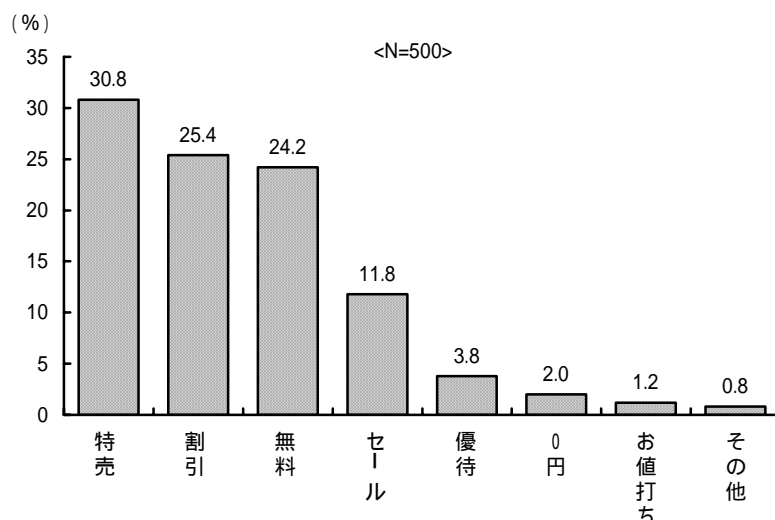
主婦が家計に余裕があればしてみたいと思うエコ対策を具体的にあげてもらいました。

“車の買い換え”と、“住宅”に関する内容(各161件)が多くあげられています。以下、“省電力タイプ電化製品への買い換え”(38件)、「コンポストを設置する」(22件)、「家庭菜園を作る」(6件)、「電動自転車を買う」(4件)、「雨水の貯水タンク」(2件)、「自転車を買う」(1件)、「食器洗浄機を買う」(1件)、「ジェルマットレスを買う」(1件)があげられています。

7. 主婦が聞いてうれしくなる買い物に関する言葉

「特売」(30.8%)、「割引」(25.4%)、「無料」(24.2%)がトップ3。

図10. 主婦が聞いてうれしくなる買い物に関する言葉



年代	20代 <n=125>	30代 <n=125>	40代 <n=125>	50代 <n=125>
20代 <n=125>	28.8	22.4	28.8	14.4
30代 <n=125>	34.4	24.0	21.6	13.6
40代 <n=125>	36.0	32.0	20.0	7.2
50代 <n=125>	24.0	23.2	26.4	12.0
世帯年収	600万円未満 <n=192>	600～800万円未満 <n=120>	800～1000万円未満 <n=81>	1000万円以上 <n=107>
600万円未満 <n=192>	31.8	21.4	29.2	11.5
600～800万円未満 <n=120>	35.0	25.0	24.2	12.5
800～1000万円未満 <n=81>	25.9	29.6	18.5	13.6
1000万円以上 <n=107>	28.0	29.9	19.6	10.3
家計の現状	楽である <n=227>	苦しい <n=273>		
楽である <n=227>	26.0	27.3		
苦しい <n=273>	34.8	23.8		

物価高騰が続くなか、買い物に関する言葉の中で主婦が聞いてうれしくなるのはどんな言葉が聞きました。

最も多いのは「特売」(30.8%)で、3割があげています。以下、「割引」(25.4%)、「無料」(24.2%)、「セール」(11.8%)が続いています。そのほかはいずれもさほど多くありません。

- 年代別に見ると、30代 40代 は「特売」(34.4%、36.0%)が特に多くなっています。一方、20代 50代 では「特売」(28.8%、24.0%)と並んで「無料」(28.8%、26.4%)も人気です。また、40代 は「割引」(32.0%)が他の年代(いずれも2割強)より多くなっており、反対に「セール」(7.2%)は少なくなっています。
- 世帯年収別に見ると、600～800万円未満 600万円未満 は「特売」(35.0%、31.8%)が3割強で最も多くなっているのに対して、1,000万円以上 800～1000万円未満 は「割引」(29.9%、29.6%)が最も多くなっています。また、「無料」は年収が少ない人ほど多くあげる傾向が見られます。
- 家計の現状別に見ると、「特売」は 苦しいと感じている人 (34.8%)で3割強となっており、楽と感じている人 (26.0%)を大きく上回っています。

〔 3 〕 ボーナスにまつわる話

1. 臨時ボーナスをあげたいと思う人

全体では「エド・はるみ」がトップ、スポーツ界では「イチロー」、政界からは「橋下徹」、その他では「自分」。

表3. 臨時ボーナスをあげたいと思う人やグループ(5人以上があげている人やグループのみ掲出)

芸能界			スポーツ界			それ以外の分野		
順位	名 前	件数		名 前	件数		名 前	件数
1	エド・はるみ	38	1	イチロー	25	1	自分	21
2	羞恥心	14	2	北島康介	24	2	橋下徹	20
3	上地雄輔	12	3	男子バレーボール 日本代表	22	3	東国原英夫	12
4	三谷幸喜	10	4	クルム伊達公子	20	4	夫	9
5	水谷豊	9	5	ダルビッシュ有	17	5	両親	8
6	世界のナベアツ	7	6	松井秀喜	12			
7	みのもんた	6	"	植田監督(男子バレー ボール日本代表)	12			
"	島田紳助	6						
"	嵐	6	8	石川遼	8			
			"	金本知憲	8			
			10	浅田真央	7			
			11	琴欧洲	6			
			12	中村俊輔	5			
			"	中田英寿	5			
			"	女子バレーボール 日本代表	5			

今年これまでに大いに活躍している人やグループで、臨時ボーナスをあげたいと思う人を、芸能界、スポーツ界、それ以外の分野に分けて自由にあげてもらいました。

芸能界では「エド・はるみ」(38件)が断然多く、全体でもトップとなっています。第2位には「羞恥心」(14件)、第3位には羞恥心のメンバー「上地雄輔」(12件)が単独であげられています。

スポーツ界では第1位に「イチロー」(25件)、第2位に「北島康介」(24件)があげられています。以下、「男子バレーボール日本代表」(22件)、「クルム伊達公子」(20件)、「ダルビッシュ有」(17件)らが続きます。

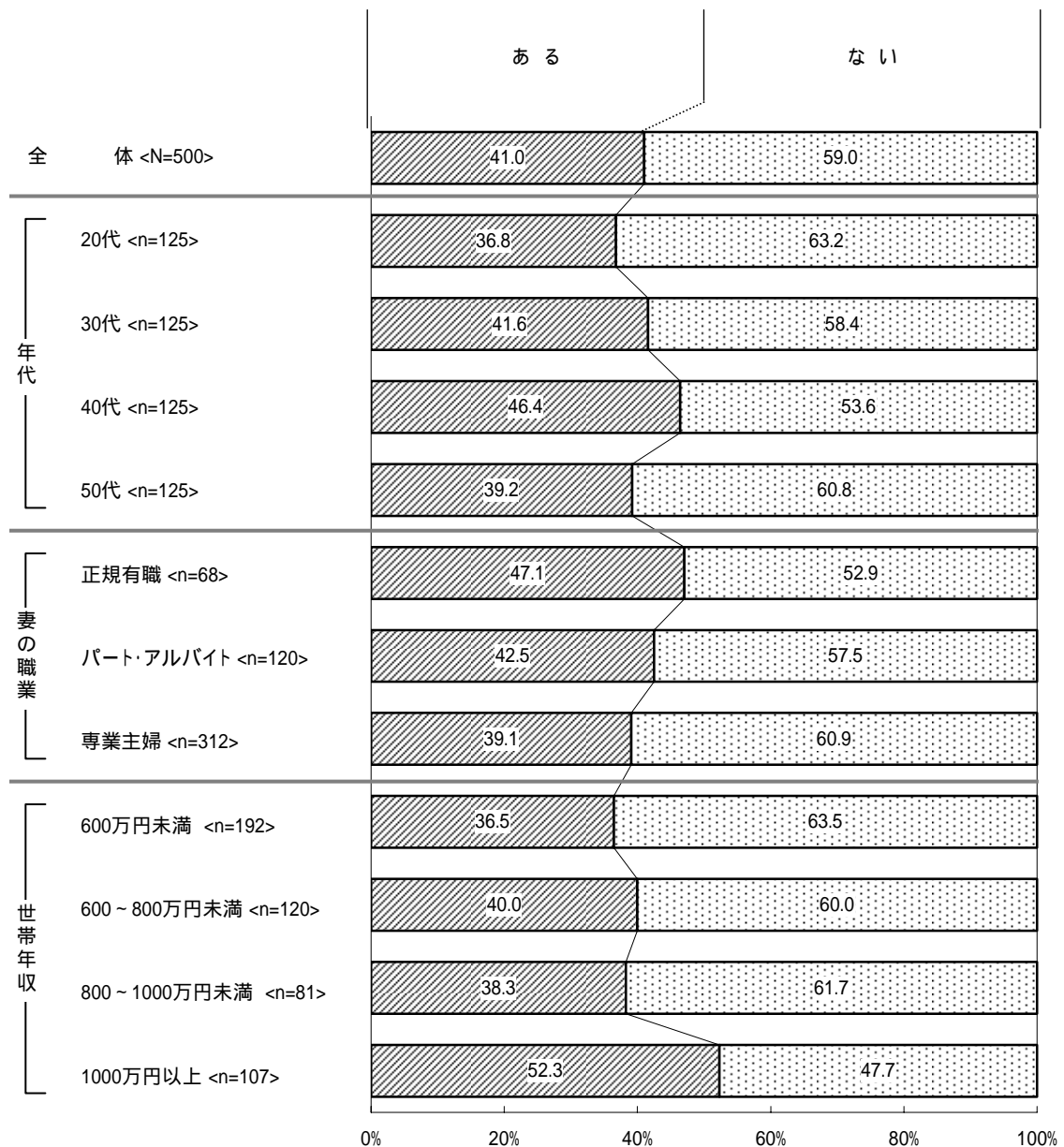
それ以外の分野では、「自分」(21件)が最も多く、政界から「橋下徹」(20件)、「東国原英夫」(12件)があげられています。

〔４〕妻が夫に内緒にしている資産

1. 夫に内緒の資産の有無

「ある」(41.0%) がほぼ4割、「ない」(59.0%) がほぼ6割。

図11. 夫に内緒の資産があるか



サラリーマン世帯の主婦は、夫に内緒にしている資産（へそくり、結婚する時に持ってきたお金、結婚後仕事・資産運用で貯めたお金など）をどれくらいの割合の人が持っているのでしょうか。夫に内緒の資産があるかについて聞きました。

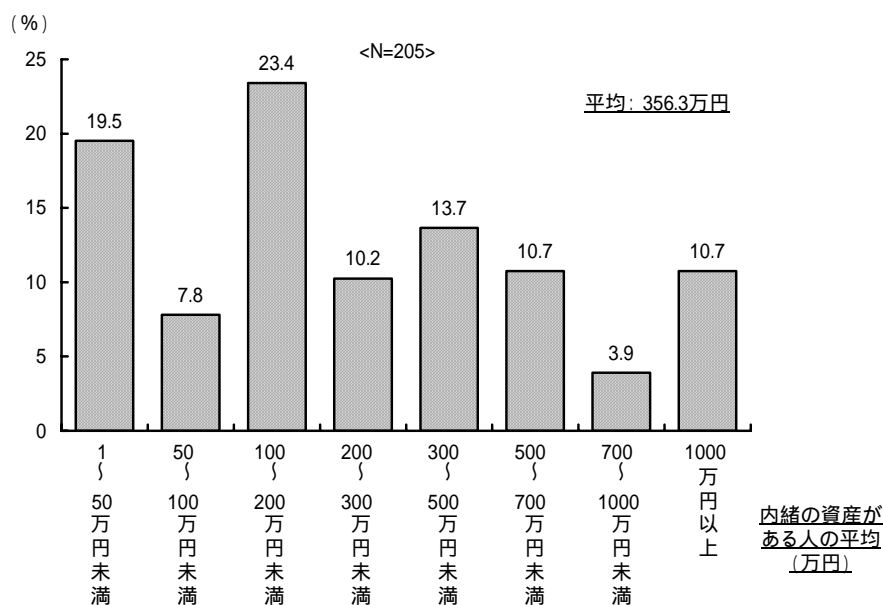
「ある」(41.0%) がほぼ4割、「ない」(59.0%) がほぼ6割となっています。

- 年代別に見ると、いずれの年代でも「ある」が4割前後となっておりさほど顕著な違いは見られませんが、40代（46.4%）が他の年代よりやや多めとなっています。
- 妻の職業別に見ると、正規有職では「ある」(47.1%)が半数弱を占め、パート・アルバイト（42.5%）や専業主婦（39.1%）を上回っています。
- 世帯年収別に見ると、600万円未満 600～800万円未満 800～1,000万円未満 では「ある」(36.5%、40.0%、38.3%)は4割程度でさほど大きな違いは見られませんが、1,000万円以上（52.3%）では半数強を占めています。

2. 夫に内緒の資産の額

「100～200万円未満」が23.4%、「1～50万円未満」が19.5%、「300～500万円未満」が13.7%など。平均金額は356.3万円

図12. 夫に内緒の資産の額(内緒の資産がある人のみ)



年代	内緒の資産がある人の平均 (万円)								平均金額 (万円)	
	1～50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500～700万円未満	700～1000万円未満	1000万円以上		
年代	20代 <n=46>	37.0	6.5	23.9	13.0	15.2	2.2	2.2	-	139.6
	30代 <n=52>	17.3	11.5	21.2	11.5	9.6	11.5	-	17.3	419.0
	40代 <n=58>	17.2	8.6	34.5	6.9	8.6	15.5	5.2	3.4	257.4
	50代 <n=49>	8.2	4.1	12.2	10.2	22.4	12.2	8.2	22.4	610.2
世帯年収	600万円未満 <n=70>	31.4	10.0	27.1	11.4	11.4	5.7	1.4	1.4	184.4
	600～800万円未満 <n=48>	25.0	8.3	27.1	8.3	10.4	8.3	4.2	8.3	287.7
	800～1000万円未満 <n=31>	6.5	6.5	16.1	16.1	29.0	12.9	3.2	9.7	364.8
	1000万円以上 <n=56>	7.1	5.4	19.6	7.1	10.7	17.9	7.1	25.0	625.2
妻の職業	正規有職 <n=32>	9.4	9.4	31.3	12.5	9.4	12.5	-	15.6	410.0
	パート・アルバイト <n=51>	17.6	3.9	29.4	9.8	15.7	13.7	3.9	5.9	282.3
	専業主婦 <n=122>	23.0	9.0	18.9	9.8	13.9	9.0	4.9	11.5	373.1

では、サラリーマン世帯の主婦は、夫に内緒にしている資産をいくらか持っているでしょう。夫に内緒の資産を持っていると回答した人に、さらに資産の額についても聞きました。

「100～200万円未満」が23.4%となっています。そのほか、「1～50万円未満」が19.5%、「300～500万円未満」が13.7%、「500～700万円未満」「1,000万円以上」がそれぞれ10.7%などとなっています。

平均金額は356.3万円です。内緒の資産がある人の平均金額
ちなみに、最高金額は4,000万円でした。

- 年代別に見ると、おしなべて年齢の高い人ほど高額となっており、20代は「1～50万円未満」(37.0%)が多く平均金額は139.6万円ですが、30代40代は「100～200万円未満」(21.2%、34.5%)が多く平均金額はそれぞれ419.0万円と257.4万円、50代は「300～500万円未満」「1,000万円以上」(各22.4%)が多く平均金額は610.2万円となっています。
- 妻の職業別に見ると、パート・アルバイトでは平均金額が282.3万円、専業主婦では

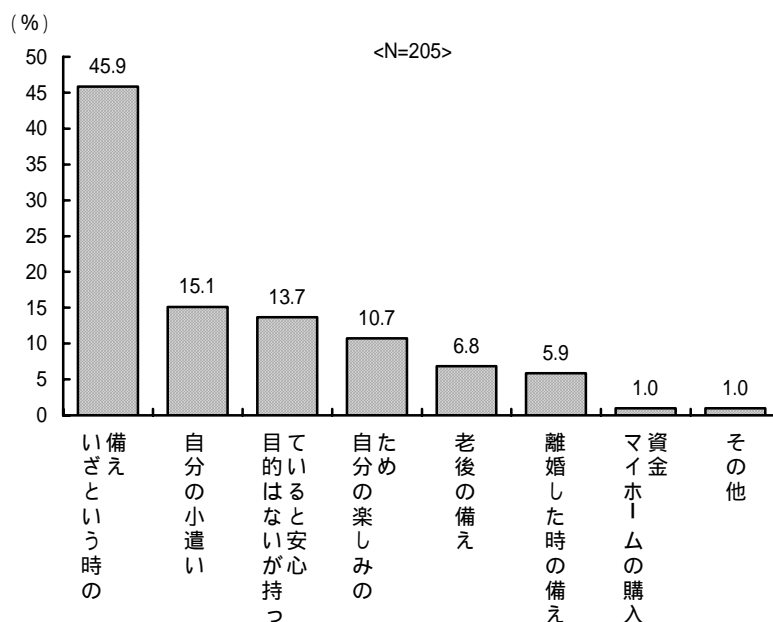
373.1万円ですが、正規有職では410.0万円と、専業主婦やパート・アルバイトを上回っています。

- 世帯年収別に見ると、年収の多い人ほど高額となっており、平均金額は600万円未満では184.4万円ですが、600～800万円未満では287.7万円、800～1,000万円未満では364.8万円、1,000万円以上では625.2万円となっています。

3. 夫に内緒の資産を持つ目的

「いざという時の備え」(45.9%)が最も多く、「自分の小遣い」(15.1%)、「目的はないが持っている」と安心(13.7%)、「自分の楽しみのため」(10.7%)が続く。

図13. 夫に内緒で資産を持っている目的(持っている人のみ)



年代	20代 <n=46>	52.2	17.4	21.7	2.2	2.2	2.2	-	2.2
	30代 <n=52>	53.8	15.4	9.6	13.5	1.9	3.8	1.9	-
	40代 <n=58>	37.9	15.5	13.8	15.5	8.6	6.9	1.7	-
	50代 <n=49>	40.8	12.2	10.2	10.2	14.3	10.2	-	2.0
妻の職業	正規有職 <n=32>	56.3	12.5	12.5	6.3	3.1	9.4	-	-
	パート・アルバイト <n=51>	39.2	9.8	13.7	15.7	13.7	7.8	-	-
	専業主婦 <n=122>	45.9	18.0	13.9	9.8	4.9	4.1	1.6	1.6
世帯年収	600万円未満 <n=70>	45.7	17.1	17.1	8.6	2.9	4.3	2.9	1.4
	600～800万円未満 <n=48>	45.8	22.9	10.4	8.3	10.4	2.1	-	-
	800～1000万円未満 <n=31>	48.4	6.5	16.1	9.7	12.9	6.5	-	-
	1000万円以上 <n=56>	44.6	10.7	10.7	16.1	5.4	10.7	-	1.8

では、妻は夫に内緒で何のために資産を持っているのでしょうか。資産を持っていると答えた主婦に、資産を持っている最も大きな目的や理由、使い道などについて聞きました。

最も多いのは「いざという時の備え」(45.9%)で、半数弱と他の目的を大きく上回っています。そのほか、「自分の小遣い」(15.1%)、「目的はないが持っている」と安心(13.7%)、「自分の楽しみのため」(10.7%)などが1割強あげられています。

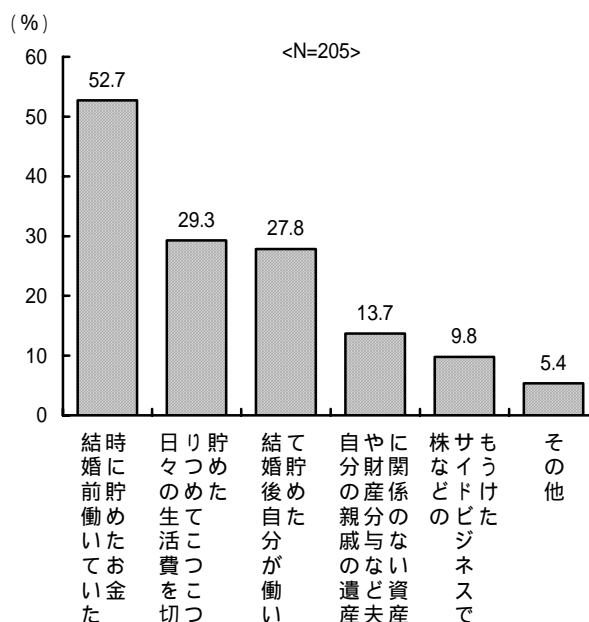
- 年代別に見ると、いずれの年代でも「いざという時の備え」が最も多くあげられています。そのほか、20代では「目的はないが持っている」と安心(21.7%)が、50代では「老後の備え」(14.3%)や「離婚した時の備え」(10.2%)が他の年代を上回っています。
- 妻の職業別に見ると、正規有職は「いざという時の備え」(56.3%)がとりわけ多く他の層を上回っていますが、専業主婦は「自分の小遣い」(18.0%)、パート・アルバイトは「自分の楽しみのため」(15.7%)と、「自分のためのもの」が他の層を上回っています。

- 世帯年収別に見ると、600～800万円未満は「自分の小遣い」(22.9%)が、1,000万円以上は「自分の楽しみのため」(16.1%)や「離婚した時の備え」(10.7%)が他の層より多くあげられています。

4. 資産を得た方法

「結婚前働いていた時に貯めたお金」(52.7%)が半数強で最も多く、以下「日々の生活費を切りつめてこつこつ貯めた」(29.3%)、「結婚後自分が働いて貯めた」(27.8%)が続く。

図14. 資産はどのようにして得たのか【複数回答】(持っている人のみ)



年代	20代 <n=46>	30代 <n=52>	40代 <n=58>	50代 <n=49>
妻の職業				
正規有職 <n=32>	65.2	30.4	23.9	4.3
パート・アルバイト <n=51>	69.2	19.2	17.3	11.5
専業主婦 <n=122>	53.4	31.0	24.1	13.8
世帯年収				
600万円未満 <n=70>	22.4	36.7	46.9	24.5
600～800万円未満 <n=48>	53.1	37.5	31.3	6.3
800～1000万円未満 <n=31>	43.1	33.3	49.0	11.8
1000万円以上 <n=56>	56.6	25.4	18.0	16.4
	58.6	30.0	17.1	10.0
	68.8	16.7	27.1	8.3
	32.3	32.3	45.2	12.9
	42.9	37.5	32.1	23.2
				7.1
				6.3
				-
				3.2
				1.8
				6.5
				7.7
				5.2
				2.0
				-
				-
				9.0
				8.6
				6.3
				3.2
				1.8

夫に内緒の資産はどのようにして手に入れたのかについても聞いてみました。

「結婚前働いていた時に貯めたお金」(52.7%)が最も多く半数以上の方があげています。以下、「日々の生活費を切りつめてこつこつ貯めた」(29.3%)、「結婚後自分が働いて貯めた」(27.8%)が3割弱、「自分の親戚の遺産や財産分与など夫に関係のない資産」(13.7%)、「株などのサイドビジネスでもうけた」(9.8%)が1割前後の割合で続いています。

- 年代別に見ると、「結婚前働いていた時に貯めたお金」は若い世代に多く、30代(69.2%)、20代(65.2%)では7割強があげていますが、50代(22.4%)では2割強にすぎません。50代は「結婚後自分が働いて貯めた」(46.9%)が最も多く、「日々の生活費を切りつめてこつこつ貯めた」(36.7%)や「自分の親戚の遺産や財産分与など夫に関係のない資産」(24.5%)も他の年代を上回っています。
- 妻の職業別に見ると、専業主婦と正規有職は「結婚前働いていた時に貯めたお金」

(56.6%、53.1%)が半数以上を示し最も多くなっていますが、パート・アルバイトでは「結婚後自分が働いて貯めた」(49.0%)が最も多くなっています。

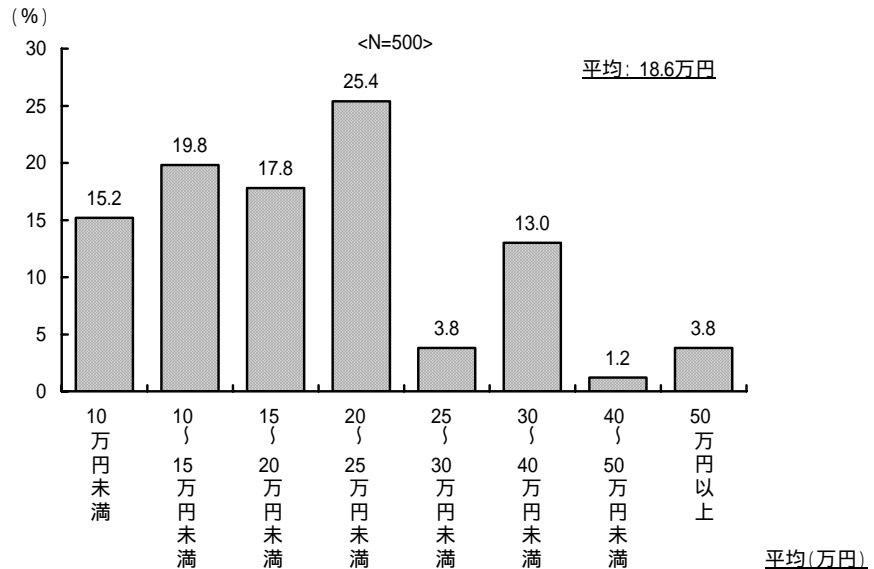
- 世帯年収別に見ると、600～800万円未満 600万円未満 では「結婚前働いていた時に貯めたお金」(68.8%、58.6%)がとりわけ多くなっています。1,000万円以上 でも「結婚前働いていた時に貯めた」(42.9%)が最も多くなっていますが、「日々の生活費を切りつめてこつこつ貯めたお金」(37.5%)、「結婚後自分が働いて貯めた」(32.1%)もともに3割強と少なくありません。一方、800～1,000万円未満 は「結婚後自分が働いて貯めた」(45.2%)が最も多くなっています。

〔 5 〕 主婦の家事労働

1. 主婦の家事労働の対価(月額)

「20～25万円未満」(25.4%)が最も多く、「10～15万円未満」(19.8%)、「15～20万円未満」(17.8%)が続く。平均は18.6万円。

図15. 家事に対する主婦の労働力を金額に換算するといくら(月額)



年代	平均(万円)										
	20代 <n=125>	30代 <n=125>	40代 <n=125>	50代 <n=125>	10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満
20代 <n=125>	20.0	17.6	16.8	27.2	4.8	10.4	1.6	1.6	17.2		
30代 <n=125>	12.0	16.8	20.0	22.4	4.0	13.6	3.2	8.0	21.7		
40代 <n=125>	18.4	18.4	17.6	28.0	2.4	12.8	-	2.4	17.1		
50代 <n=125>	10.4	26.4	16.8	24.0	4.0	15.2	-	3.2	18.2		
妻の職業	正規有職 <n=68>	16.2	16.2	17.6	27.9	5.9	8.8	1.5	5.9	20.5	
	パート・アルバイト <n=120>	15.0	21.7	19.2	26.7	1.7	12.5	-	3.3	17.6	
	専業主婦 <n=312>	15.1	19.9	17.3	24.4	4.2	14.1	1.6	3.5	18.5	
世帯構成	夫婦のみ <n=137>	22.6	22.6	21.2	20.4	2.2	7.3	1.5	2.2	16.4	
	夫婦と子 <n=314>	12.4	19.1	16.2	26.8	4.5	15.3	1.3	4.5	19.4	
	3世代同居 <n=30>	10.0	16.7	20.0	40.0	3.3	6.7	-	3.3	19.1	
	夫婦2世代 <n=14>	14.3	21.4	14.3	14.3	-	28.6	-	7.1	20.4	
	その他 <n=5>	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	19.0	
子供の有無	いる <n=312>	12.5	18.6	16.7	27.6	4.5	14.7	1.3	4.2	19.4	
	いない <n=188>	19.7	21.8	19.7	21.8	2.7	10.1	1.1	3.2	17.2	

主婦は自分自身がこなしている家事に対する労働力を月額に換算するといくらくらいにあたりと考えているのでしょうか。その金額をあげてもらいました。(次ページ参照)

最も多いのは「20～25万円未満」(25.4%)で、以下「10～15万円未満」(19.8%)、「15～20万円未満」(17.8%)、「10万円未満」(15.2%)などが続いています。

平均は18.6万円です。

- 年代別に平均金額を見ると、30代が21.7万円でも最も高額で、50代が18.2万円、20代が17.2万円が続いており、40代は最も低額の17.1万円となっています。
- 妻の職業別に平均金額を見ると、正規有職は20.5万円でも最も高額となっており、専業

- 主婦 は 18.5 万円、 パート・アルバイト は最も低額の 17.6 万円となっています。
- 世帯構成別に平均金額を見ると、 夫婦のみ は 16.4 万円と他の層を下回っています。家族のいる主婦に比べて家事が多少楽だと認識しているのでしょうか。
 - 扶養中の子供の有無別に平均金額を見ると、 子供のいる人 は 19.4 万円で、 子供のいない人 (17.2 万円) より高額となっています。

下記の表は、『平成 18 年賃金構造基本統計調査』(厚生労働省) から抜粋したもので、この仕事を“職業にしている方(いわゆるプロ)”が得ている平均報酬額(給与)です。今回のアンケートでは、この金額を参考にして回答していただきました。

内 容	参考職種	1ヶ月当たりの給与	1時間当たりの給与
料理	調理師見習い	185,100 円	1,057 円
掃除	ビル清掃員	171,600 円	1,027 円
洗濯	洗たく工	190,700 円	1,108 円
子供の世話	保育士	217,200 円	1,270 円
介護	ホームヘルパー	213,000 円	1,290 円